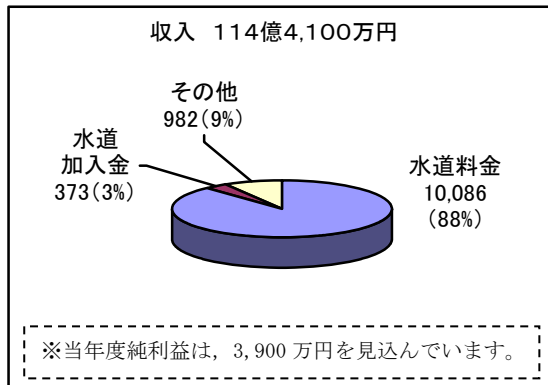


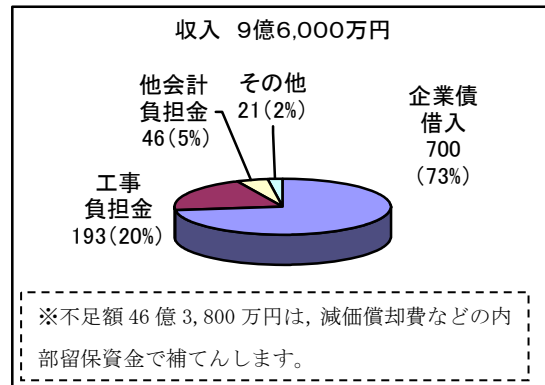
平成 26 年度 上下水道局 予算のあらまし

1 平成 26 年度水道事業の予算 (税込, 単位: 百万円)

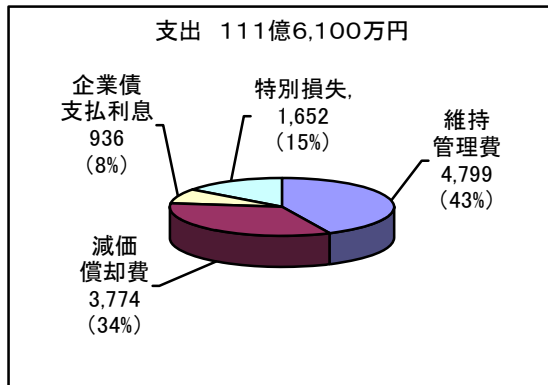
収益的収支



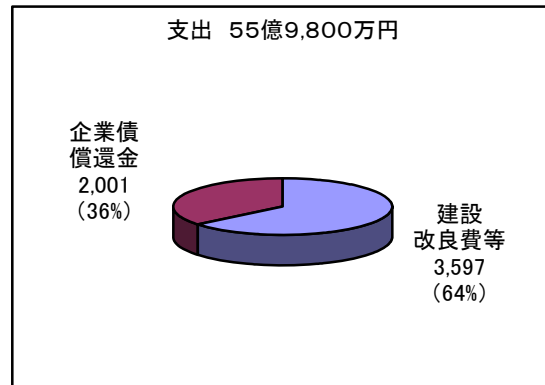
資本的収支



支出 111億6,100万円



支出 55億9,800万円

2 平成 26 年度水道事業の主な取組 別紙 参照

節水機器の普及や節水意識の向上などにより、経営の根幹となる水道料金の大幅な増収が見込めず、今後の経営状況がさらに厳しくなっていくことが予想されることから、「上下水道基本計画改定計画」に定めた施策・事業を着実に推進するため、すべての施策・事業について優先化・重点化を行うなど「最適化」に取り組み、これまで以上に効果的・効率的な事業運営に努める。

■ 水道水の安心給水の推進

- 安全で安心な水道水を供給するため、老朽化の進んだ浄水場の施設更新に取り組むほか、老朽配水管の布設替や漏水防止のための漏水調査を行う。

■ 危機管理の強化

- 災害や事故に強い水道の確立を図るため、上水道施設の耐震化や危機管理設備の増設を推進する。

■ 環境負荷低減の推進

- 環境への負荷低減を図るため、引き続き太陽光発電や小水力発電の活用を推進する。

■ お客様サービスの充実

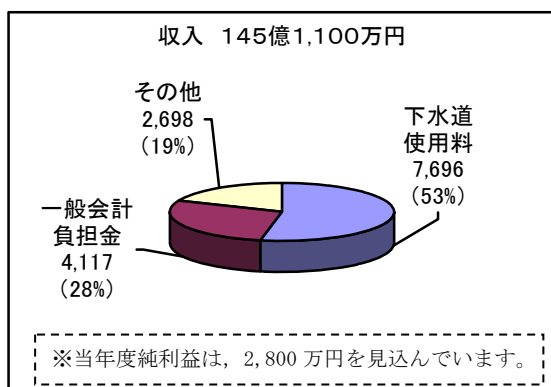
- 顧客満足度の向上を図るため、広報広聴活動の充実強化を推進する。

■ 信頼経営の推進

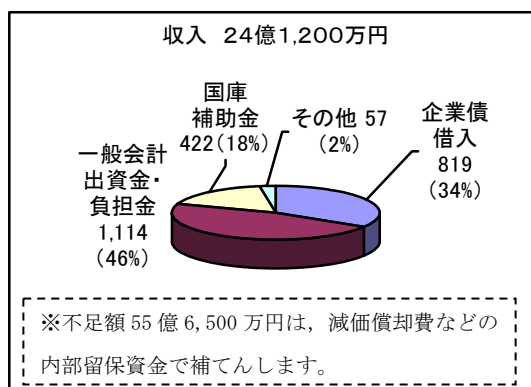
- 経営基盤の強化を図るため、企業債残高のさらなる縮減やアセットマネジメントの導入を推進する。

3 平成26年度下水道事業の予算 (税込, 単位: 百万円)

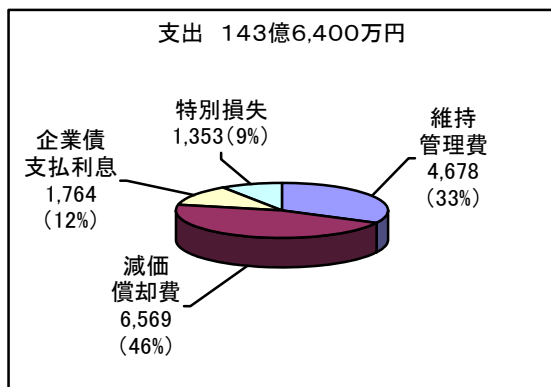
収益的収支



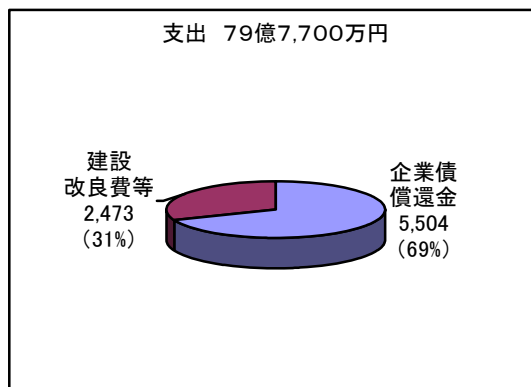
資本的収支



支出 143億6,400万円



支出 79億7,700万円



4 平成26年度下水道事業の主な取組 別紙参照

市町合併等により下水道整備区域が拡大する一方、節水機器の普及などにより、経営の根幹となる下水道使用料の大幅な増収が見込めず、今後の経営状況がさらに厳しくなっていくことが予想されることから、「上下水道基本計画改定計画」に定めた施策・事業を着実に推進するため、すべての施策・事業について優先化・重点化を行うなど「最適化」に取り組む、これまで以上に効果的・効率的な事業運営に努める。

■ 下水の適正処理の推進

- ・ 下水道の整備率向上を図るため、下水管渠や施設の計画的な整備を推進する。
- ・ 市街地の浸水被害の解消を図るため、重点排水区における大雨時の雨水貯留施設の設置などを推進する。

■ 危機管理の強化

- ・ 災害や事故に強い下水道の確立を図るため、下水道施設の耐震化を推進する。

■ 環境負荷低減の推進

- ・ 環境への負荷低減を図るため、下水処理過程において発生する汚泥消化ガスの有効活用などを推進する。

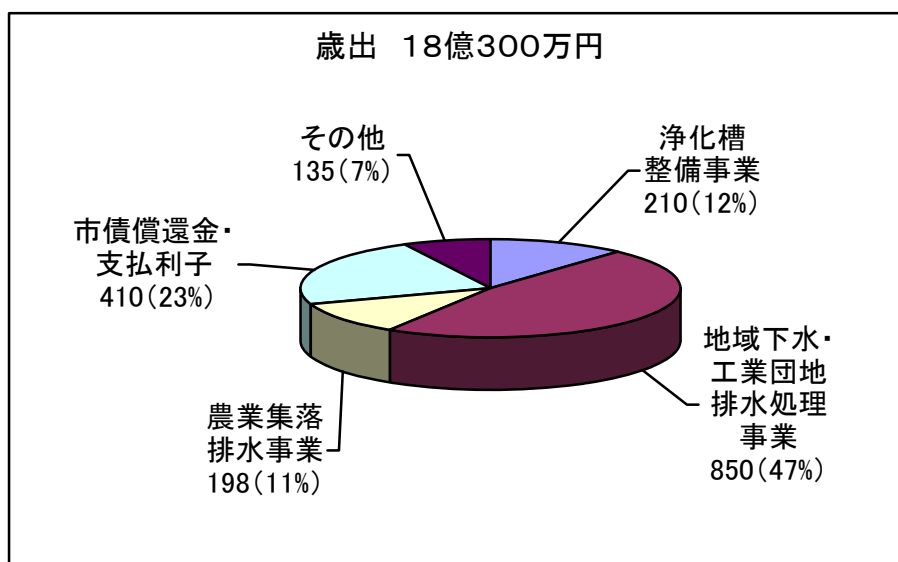
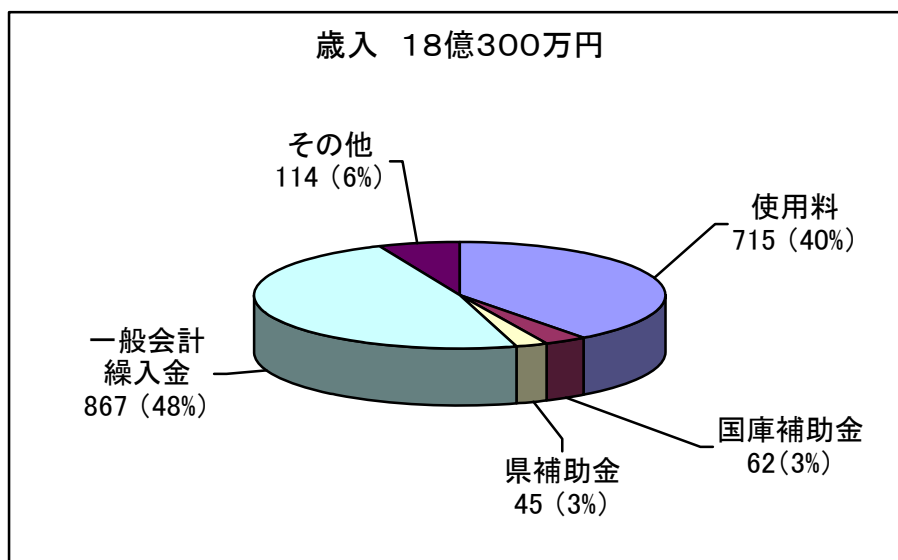
■ お客様サービスの充実

- ・ 顧客満足度の向上を図るため、広報広聴活動の充実強化を推進する。

■ 信頼経営の推進

- ・ 経営基盤の強化を図るため、企業債残高のさらなる縮減やストックマネジメントの導入を推進する。

5 平成26年度生活排水処理事業の予算 (税込, 単位: 百万円)



6 平成26年度生活排水処理事業の主な取組 別紙 参照

公共用水域の水質汚濁防止や快適な生活環境を確保するため、下記の事業に取り組む。

■ 浄化槽整備事業

- 「生活排水処理基本計画」に基づき 325 基を整備するため、浄化槽整備事業補助金を交付する。

■ 地域下水処理事業

- 民間の大規模団地開発に伴い整備され市に移管された、瑞穂野団地地域下水処理施設など 10 施設の維持管理業務委託や、電気設備改良工事などの施設整備を行う。

■ 工業団地排水処理事業

- 工業団地整備に伴い県が整備し市に移管された平出・清原工業団地排水処理施設の維持管理業務委託や、電気・機械設備改良工事などの施設整備を行う。

■ 農業集落排水事業

- 市が整備した板戸地区農業集落排水処理施設など 14 地区の施設について、維持管理業務委託や修繕工事などを行う。